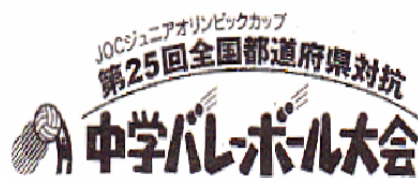


# 選抜通信



第14号 平成24年1月10日(火)

## 4ヶ月間よく頑張りました

9月の結団式から約4カ月間、ほとんど毎週土日と水曜日には練習や練習試合がありました。水曜日には帰宅するのが10時近くになった人もいたと思います。また、集まらない平日も各中学校で練習に励んでくれた人もいたでしょう。選手のみなさんのそんな努力の中、昨年12月25日にJOCの大会本番を迎えました。

## 大会結果

予選の相手は鹿児島県と山梨県。京都チームはいつも通り出足悪く、序盤はリードを許すものの、持ち前の攻撃力とつなぎで中盤から追い上げ、心配していた対鹿児島戦は第1セット25-19、第2セット25-21で勝利しました。

2日目の対山梨戦も第2セットこそ少し点数を取られましたが、相手のエースのスパイクをしっかりと拾い、第1セット25-17、第2セット25-22で勝利し、予選を見事1位で通過しました。



27日決勝トーナメントの1回戦、相手は北海道。左きき・右ききの両エースのチームでした。序盤、京都のスパイクが相手ブロックに阻まれ思うように点数が取れませんでした。逆に相手エースの足の長いスパイクに苦しめられ、大幅にリードを許します。

しかし、ようやく攻撃が決まり始め、サーブでも相手のレシーブを崩しジュースの末、第1セットを29-27で逆転勝ちしました。続く第2セット。またもや出だしでリードを許し、中盤から追い上げたものの、追いつけずに20点で落としました。フルセットとなり、「必勝」の気持ちで臨んだ第3セットでしたが、第2セットと同じような展開で最終的には19点で負け、決勝トーナメントを敗退しました。

**最後に** 君たちの中学バレーは幕を閉じました。最後までよく頑張ったと思います。しかし以前にも書きましたが、「強い者が勝つのではなく、勝った者が強い」のです。残念ながら今の段階で君たちよりも勝っている選手・努力している選手がまだまだいます。これから先、まだまだ可能性を秘めた君たちだから、高校でも一人の選手として、また一人の人間としてますます大きく成長してほしいと思います。今後は高校バレーの世界で、成長した君たちの姿を見られることを楽しみにしています。

4ヶ月間ご苦労様、そしてありがとう。